



学校運営協議会について

校長 山本 敦子

1年生が育てている朝顔に、紫や水色、ピンクなど色とりどりの花が咲き始めました。「お花が2個、咲いたよ」と嬉しそうに報告してくれるかわいい1年生の姿が印象的です。

さて、大東東小学校がコミュニティスクールとして指定されて4年目となりました。コミュニティスクールについて、ここで改めてご紹介させていただきます。コミュニティスクールとは、学校運営協議会が設置された学校のことです。学校運営協議会の設置については、今までの学校評議員制度と異なり、市の教育委員会が委員の任命や協議会の設置を行います。それについては、平成29年に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」で示されています。学校と地域住民などが力を合わせ、地域住民が学校運営に関わることが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための取り組みです。

令和6年度の本校の学校運営協議会委員は、5名の地域代表の方々に構成されています。

顔写真	顔写真	顔写真	顔写真	顔写真
尚美学園大学教授 お名前 様	豊田町自治会長 お名前 様	主任児童委員 お名前 様	PTA 会長 お名前 様	元川越市立中学校校長 お名前 様

第1回目の協議会は、校長の学校経営方針の承認等、第2回目6月18日（火）は、子供たちの下校の安全確保と、地域人材の活用についての2本柱でした。

地域人材の活用については、川越市が重点としている「ふるさと学習」の一環として、本校では、地域や外部の人材の発掘をしております。「ふるさと学習」とは、地域との関わりを通して行う体験を中心とした学習で、ふるさとへの愛着と誇りを養うことをねらいとしています。学校運営協議会第2回目は、大東地区において、豊富な社会経験を持つ地域住民や外部人材で、教育課程上でご協力いただける方、また、地域の教育資源（自然・歴史・文化などに関連した資源）はないか協議しました。現在、大東中学校の吹奏楽部の生徒による演奏を秋に予定しております。子供たちの大東地区への郷土愛の育成、多様な人との関わりによる豊かな心の育成のために、保護者、地域の方々のご理解、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。